



ものづくり要素技術と生産技術の総合展示会「テクノフロンティア2024」の部品加工技術展における、浜松商工会議所と浜松市による共同出展ブース。昨年7月24日から26日にかけて東京ビッグサイトにて開催された

異業種との出会いで広がるビジネスチャンス

新素材で切り拓く、販路開拓の挑戦

主に輸送用機器などのアセンブリー事業を展開する株式会社美浜工業は、発案した自社製品のPRを目的に総合展示会「テクノフロンティア2024」に共同出展。軸心の事業では実現しにくい異業種との出会いなど、これまでの展示会とは違う確かな手応えを得たという。

オートバイなどの輸送用機器や電気機器の部品組立、金属加工を主力事業とする美浜工業。リーマンショックによる大きな打撃を教訓に、2011年ごろから樹脂材料メーカーと連携して自社製品の開発に取り組んできた。

その当時、自社の工場を抱えていた課題の一つが、製品であるヘッドライトやテールライトに電気ケーブルを取り付ける際、外観面

に小さな傷が生じてしまうことだった。

対策のためゴム製の保護カバーを作製したものの、消耗が激しく3～4カ月で破損。フェルト製カバーは異物混入による新たな傷を生む可能性があり、いずれも抜本的な解決には至らなかった。

そんな試行錯誤の中で生まれたのが、型取り資材を転用した「ソリッドフリー」だ。

ブース立ち寄り説明人数**181人**
名刺受取枚数**118枚**



自社コーナーでは、DIY感覚で簡単に成形できる樹脂板製品「ソリッドフリー」を展示